

個人積算線量計による外部被ばく線量測定（令和５年度）

○測定について

●測定者数：市民１５３人

●測定機器：千代田テクノル社製個人積算線量計（Ｄ－シャトル）

●年間追加被ばく線量

年間追加被ばく線量とは、２週間の測定結果をもとに、自然の放射線で被ばくする線量を超えて被ばくする線量（年間）を算出したものです。

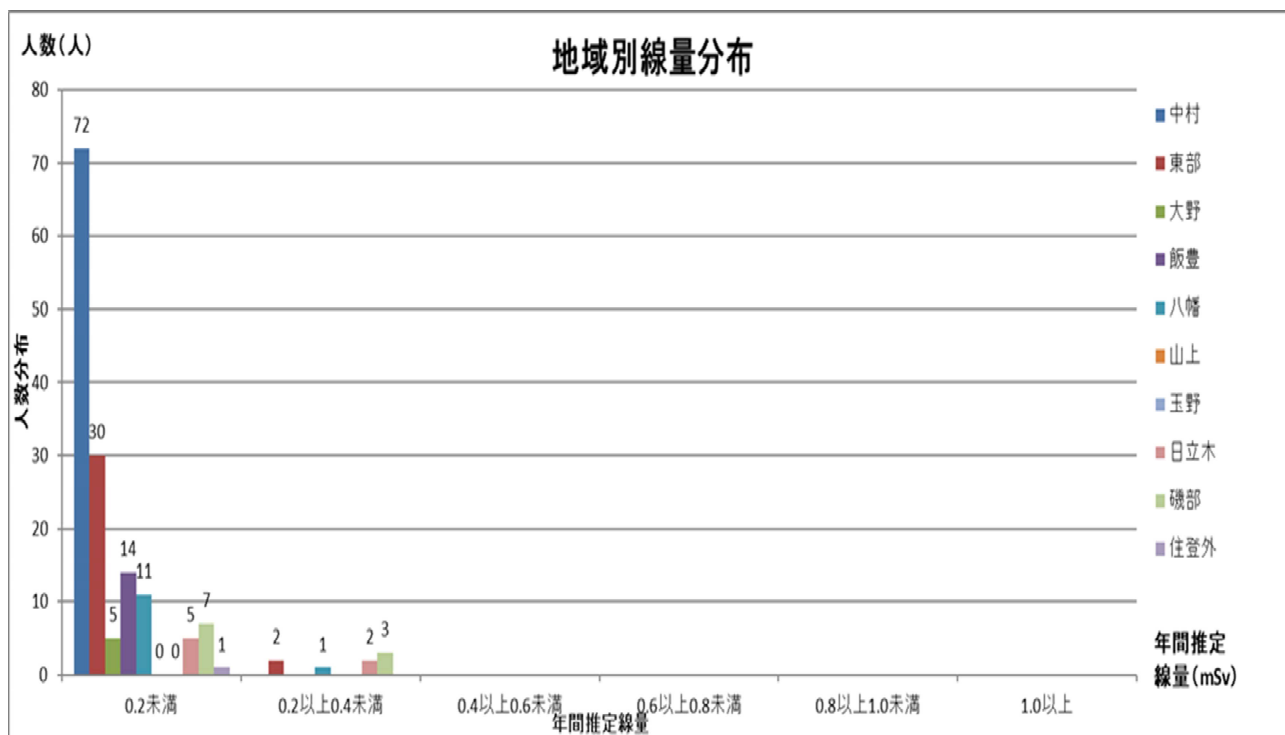
ここで基準となる、自然の放射線で被ばくする線量とは、（株）千代田テクノル社が東日本大震災以前に茨城県大洗町で計測したデータ（０．５４ｍＳｖ/年）です。

○結果について

- ・令和５年度測定の結果相馬市内での追加被ばく線量の最高値は０．３６８ｍＳｖ/ｈで、国が設定した年間追加被ばく線量の目標値（１．０ｍＳｖ/ｈ）を超える方は０人でした。

▽地域ごとの線量分布

年間推定 線量 (mSv)	中村	東部	大野	飯豊	八幡	山上	玉野	日立木	磯部	その他	計
0.2 未満	72	30	5	14	11	0	0	5	7	1	145
0.2 以上 0.4 未満		2			1			2	3		8
0.4 以上 0.6 未満											
0.6 以上 0.8 未満											
0.8 以上 1.0 未満											
1.0 以上											
計	72	32	5	14	12	0	0	7	10	1	153



▽男女ごとの線量分布

年間推定線量(mSv)	合計人数	男	女	未回答
0.2未満	145	72	73	
0.2以上0.4未満	8	3	5	
0.4以上0.6未満	0			
0.6以上0.8未満	0			
0.8以上1.0未満	0			
1.0以上	0			
計	153	75	78	0

